

特定非営利活動法人

# さわやか北摂つうしん

編集発行:さわやか北摂広報部 川西市緑台 3-3-39 TEL 072-792-3532

## たすけあい利用者急増中!!

市内でも高齢化率が1～2位を争うと言われている、ここグリーンハイツ地区ですが65歳から高齢者と呼ぶにはまだまだお元気な方が多く、今まではそれほど実感はありませんでした。ところが昨年『たすけあい』の新規利用者さんが今までになく急激に増えて一時は入会手続きが追いつかないほどの状況でした。なぜだろう?と考えてみました。ここ数年高齢ドライバーの事故が多発し、社会問題にもなっているため、今までご自身で運転されていた方も免許証を返納し、通院などでお世話になろうと考える方が増えたことが一つの要因と思われます。また、まだ介護保険にお世話になるほどではないけれど、ちょっと助けて欲しいという方や、介護保険では制約が多くて希望するサービスが十分受けられないと言う方もおられます。やはり高齢化の波はじわじわと広がっているのが身近に感じられます。

又この春には診療報酬改定があり、急性期病院の平均在院日数は一段と短縮化されそうです。入院しても十分回復しないまま退院となるケースも出てくるのではないかと懸念されますが、そうすると在宅での支援体制を一層強化する必要があり、医療や介護関

係機関のみならず、ボランティアや地域住民も含めた地域包括ケアシステムを確実に形にして行かねばなりません。しかし、在宅介護の情勢も決して明るいものではなく、次期介護保険改定では要介護2までの軽度者に生活援助や福祉用具の使用に対して制限しようという案まで出ています。社会保障費の歳出を抑えるためとはいえ、一度掛けたはしごを外すとはこのことかとため息が出ます。『たすけあい』の利用者が増えることは決して喜ぶべきことではなく、公的なサービスがもっと充実し、『たすけあい』のようなボランティアな活動は公的サービスの補足、すき間を埋める程度であることが理想だと考えています。経済効果を優先するばかりではなく、日本の繁栄を担ってきた人生の先輩に対して優しい社会であって欲しいと願ってやみません。

(理事・介護支援専門員 野村 貴美子)



福武 知子 画

## 平成27年度第2回理事会開催

大きく変る介護保険制度に対応するため、さわやか北摂として今後の進路や人事について、理事さんに集まっていたいただきました。現状報告では2カ所のデイサービスを水明台に統合したいこと、好評のプロによるマッサージを新しい業務にすること、等検討されました。

組織体制についても、たすけあい活動・訪問介護事業・通所介護事業・障がい福祉サービス・居場所などの各部門に統括責任者を置き、チェック機能や指示系統を確立させることを再確認しました。

緑台デイの移動後の部屋については、手狭で困っていた事務所が2階から移り、ヘルパーステーションも兼ねます。2階は研修会や相談室に使用予定です。

28年度の総会および新年度理事会は5月下旬に行います。



理事6名での協議



♡♡ 日本財団から新車の寄贈を受ける ♡♡  
ホンダNワゴン 軽 4人乗り



ホンダNワゴン

日本財団から、さわやか北摂設立後21年間に4台の車両の寄贈をうけました。団体設立後8カ月で最初のホンダアクティ軽リフトカーを頂き、20年経た現在も、荷物運びなどに現役で活躍しています。どんな団体なのかと、わざわざ東京から確認にお越しいただいた時のことが、つい先日のように思い出されます。以来、トヨタ・ファンカーゴも助けあい活動の通院の足として、大切な役目を果たしています。

福祉制度の変更と共に、益々必要度が増している市民活動に、なくてはならない自動車。昨年度に続き、27年度もホンダNワゴンの寄贈を受けました。今後も会員の皆様のお役に立てることを誓って頑張ってお参ります。ご寄贈に心から感謝申し上げます。

『さわやかホームページのご案内』

<イベントのブログも更新中>

URL : <http://sawayakasan.sakura.ne.jp>

E-mail : [s19950701sawayakasan@nifty.com](mailto:s19950701sawayakasan@nifty.com)

♡ ゆずって下さい ♡

● 50 CCのバイク

● 事務机



## 志垣太郎さんご一行をお迎えして

— 月刊センチュリー誌の取材（2月26日） —

「月刊センチュリー」という中小企業の情報紙（1万部発行）の記者から突然の取材の申込みを頂いたのは当日の4日前のことでした。俳優の志垣太郎さんとご一緒に、との事。有名な俳優さんがどうして？びっくりするやら不安やら。でもデイのおとしよりの方々がきっと喜ばれるだろうな！と先ず気づきました。ところでどうしてさわやか北摂を？とお尋ねした。記者さん曰く『30年も記者をやっていますので、そのあたりの情報は・・・まあよろしく』という訳で、当日を迎えました。

テレビの画面と同じく、いやもっとハンサムでダンディーな志垣さんを拝見してドキドキ（笑）。創立以来およそ21年。市民活動のハシリだった当団体は、度々各メディアに取りあげていただき、草の根活動を間接的に支えていただきました。しかし、この度のようなご一行様は初めてでした。

志垣さんがインタビュアーとして参加されている理由は全く存じませんが、静かに傾聴されていて、時々発言される、的を射たお言葉に教養の高さと彼の哲学を垣間見た思いが致しました。多分野の取材となると、そのご苦労もさぞかし、と思われます。

面接後、デイにお越しの方々と1人ずつ握手をされ、拍手と共にキャーといったり、この手は洗えないわ（笑）といったり大騒ぎでした。色紙にサインもいただき、早速壁に貼ってあります。

記者から久恒に最後のお尋ね。これから先の目標は？『う～ん、死ぬ時に精一杯やれて幸せだったわと笑っていきたいですね。』【取材の記事は月間センチュリー6月号に掲載予定】



はじめまして！・・・よろしく  
志垣太郎さんをお迎えする久恒代表



デイの方々と握手会のあとのひとこま

《写真はセンチュリー社提供》



志垣太郎さんのサイン色紙

# 任意後見制度

## — 遺言・相続あれこれ（その10） —

行政書士 鳥越 俊彦

前回は任意後見制度について準備しておくことで、安心して過ごせることをお話ししました。今回は、任意後見制度の手続きについて、具体的に見ていきましょう。まず、自分の将来を考えた場合、“お一人様”又はそれに近い状態になることが想定されるならば、この手続きをしておくことをお勧めします。今まで後見人は身内の方が多かったのですが、最近は専門職の法律家（弁護士・司法書士・社会福祉士や、専門とするNPO法人）などが後見人となるケースが増えてきました。

### 〔手続き方法〕

1. 将来の後見人候補者を見つける。  
甥、姪等親族のうち、比較的若い人で、なるべく近くに  
住んでいて、自分のことをよく知ってくれている人が  
いれば尚良いでしょう。
2. 「任意後見契約」を公証役場にて公正証書にする。  
代理してもらう仕事は、財産管理や各種手続きなど  
身のまわりの保護や支援をしてもらうものです。



### 〔事例：Aさんの場合〕

姪と任意後見契約を結んでいるAさんは、「私の母も認知症になりましたので、私も可能性が高いと思います。幸いに近所に住む姉の子が後見人になることを了解してくれたので、まだ早いかなどは思いながら、移行型の任意後見契約を結びました。今では、月に1回は訪ねてくるか、電話があります。入院した時も、私に代わって入院手続きとか預貯金の出し入れなどしてくれて助かりました。任意後見の一番いい所は、私の判断能力がなくなった後、どんな生活がしたいかを、遺言書にあれこれ書いた上、公証役場で、公文書にしていることです。それを後見人に渡しておりますので、安心です。」とおっしゃっていました。

※ 後見制度開始以後については、次回にお話ししましょう。

### 募集!!

- ★ 男・女ヘルパーさん
  - ★ たすけあい活動者さん
  - ★ ドライバーさん
- ※月1回からでもOKです

主に障がい者サービスを担当して3カ月になります。送迎やガイドなど、何でも積極的に取り組んでいます。宜しくお願ひ致します。



筒井 純司  
(介護福祉士)

代表やスタッフの皆さんと一緒に、明るく楽しく「すべやる課」の職員です。よろしくお願ひします。



鷺野 奈美子  
(代表補佐)

✿ 新スタッフ紹介 ✿

# デイサービス・居場所あれこれ



「フローラ アンサンブル合唱団」の皆さん  
ウィーンでの合唱祭から帰って来られてすぐ  
の来演でした。尾市先生の指揮と歌声に、皆さ  
んからブラボー！の声と拍手が。



混成合唱団「ヴェルデリーガ」の皆さん  
なつかしい歌とそのハーモニーの美しさ  
にうっとり。森本先生の鈴を振るような  
お声は、どこから出るのでしょうか？



落語家・池田家先手さんをお迎えして  
おなじみの“寿限無”を。  
皆さんはシュゲム・シュゲム・ゴコウノ  
スリキレ・・・アハハとたのしみました。



小笠原流煎茶道の師範ご夫妻と社仲の  
方のお手前で、“おいしいねえ、ごちそ  
うさまでした！”お正月の再来でした。



落語第2段は 鶴亀亭仏法さん  
演題は“道具屋”さても楽しい古道具屋さ  
んの到来に思わず笑い転げました。



民舞・緑会さんによる新年の舞踊は、日本  
の心のふる里です。  
なつかしい曲や音頭に心がいやされました。

## ◆◆ 障がい福祉サービスの現状とヘルパー定例会 ◆◆



最近のご利用者さんの傾向として、介護する側の家庭も年をとって要介護状態になったり、今までは家族がしていたこともヘルパーさんに頼まなくてはいけなくなったりするケースが増えています。障がい福祉サービスと介護保険サービスを組合わせて利用される方もあり、体力はもとより熟練した技術も求められます。さわやか北摂では数少ない男性ヘルパーを中心に精一杯当たらせていただいておりますが、ご時世なのか募集しても新しいヘルパーはなかなか増えず、ヘルパーの

配置調整が目下の一番の悩みの種です。何とか時間をやりくりして利用者さんに迷惑がかけないように、そしてさわやかヘルパーさんなら安心、とだけ言っていただけるように精進しなければと思っております。

さわやか北摂ではヘルパーさん達のスキルアップのため、勉強・研修の場として年4回ヘルパー定例会を行っています。1月の定例会は障がい福祉サービスについて勉強しました。今回のテーマは「街で見かけるマークについて」です。そのマークの絵をカードにして楽しみながら意味を理解していくようにしました。実践で生かすのはもとより、ちょっとした知識があるかどうかでまた視野が広がって、有意義な勉強の場になりました。（サービス提供責任者 山内 照子）

### ★ 障がい者に関する各種マーク ★

マーク	【名称】と概要	マーク	【名称】と概要
	<b>【障害者のための国際シンボルマーク】</b> 障害者が利用できる建物、施設であることを明確に表すための世界共通のシンボルマークです。		<b>【耳マーク】</b> 聞こえが不自由なことを表す国内で使用されているマーク。コミュニケーションの方法への配慮がひつようです。
	<b>【身体障害者標識】</b> 肢体不自由であることを理由に免許に条件を付されている方が運転する車に表示するマーク。		<b>【ほじょ犬マーク】</b> 身体障害者補助犬同伴啓発のためのマーク。公共交通機関、デパート、ホテル、など民間施設でも同伴可能となりました。
	<b>【聴覚障害者標識】</b> 聴覚障害であることを理由に免許に条件を付されている方が運転する車に表示するマーク。		<b>【オストメイトマーク】</b> 人工肛門・人工膀胱を造設している人のための設備があることを表すマーク。対応のトイレの入口に表示されています。
	<b>【盲人のための国際シンボルマーク】</b> 盲人のための世界共通マークです。視覚障害者の安全やバリアフリーに考慮された建物、設備、機器などにつけられています。		<b>【ハート・プラス マーク】</b> 身体内部に障害がある人を表すマーク。電車の優先座席、携帯電話の自粛、駐車スペースなど、協力が欠かせません。

# 活動参加の意識が生きる喜びを創る

2016 NEW YEAR MESSAGE

## 兵庫発寄付文化の芽生え感謝と期待

特定非営利活動法人

さわやか北摂代表理事 久恒 千里



昨年12月に来日したアメリカのビル・ゲイツ氏は、地球規模のスケールで社会貢献活動に取り組んでおられます。

マスコミ報道によると、福島の対話イベントで、被災した中学生の質問に次のように答えられたとか。「日本で寄付の習慣を定着させるには」との問いに「デジタルのツールを使いながら、寄付によってこんな前進があったという事を見てもらったらど

うでしょう」と笑顔で答えられたそうです。人間にスポットを当てた言葉として真直ぐに私達の心に入ってきました。

昨年日本の兵庫県で芽生えた、(公財)ひょうごコミュニティ財団の「共感寄付」に参加させて頂いた当団体として、おこがましくも正にビル・ゲイツ氏と同じ考えだと心に強く響く言葉でした。

今、日本でも官民を問わず、少しずつ寄付に対する対策が考えられつつありますが、日本人の寄付の約5割強は町内会の集めるもので占められているのが現状です。

ひょうごコミュニティ財

団は、日本の寄付文化の活性化を図るため、二年前に設立された兵庫県で唯一の中間支援事業の市民団体です。集めた財源を必要とするNPOや市民活動団体に橋渡しをする：業務団体です。今回は県内2千100のNPO法人や団体の中から18団体がエントリーされ、4カ月余りの期間中に、希望額に達したのは、当方も含め3団体でした。さわやか北摂として寄付金の大切な使途はおおむね次のように考えています。官の隙間を埋める「助けあい活動の充実」やそのための協力者の確保。またできるだけ元気に過

ごしていただく高齢者や障がい者のた目の居場所の活性化など、やりたい事は山積みです。

欧米から何十年も遅

れてスタートしたばかりの、日本の寄付文化の創設をされた、ひょうごコミュニティ財団に心からご健闘の拍手と感謝を送りたいと思います。願わくはデジタルの世界だけでなく、多くの人の目にふれる形で世間にアピールしていただきたいものだと願っています。

## 健康福祉情報新聞

NPO 日本いきいきらいふ協会

ひとりひとりがしあわせに  
生かれる そんな社会づくりへ  
大きな 輪に広げよう

大阪市北区豊崎5-8-2-405  
TEL06-6371-2226 FAX06-6371-9466

## あなたの寄付で まちを元気に！

2013年6月に創立された(公財)ひょうごコミュニティ財団は、兵庫のNPOを資金面から支援するために設立されました。2014年には全国組織にもなり、市民コミュニティ財団に広がりました。さわやか北摂は、2015年の第2期に18団体の1つにエントリーされ、お世話になりました。

## 共感寄付を広めましょう



## 活動実績

	たすけあい		訪問介護 (件)	障がい者支援 (件)	デイ利用者 (延人数)	
	家事・介助(時間)	移動介助(回)			緑台	水明台
H27.10月	503	911	1,060	360	緑台 218	水明台 377
11月	442	898	1,003	355	202	322
12月	520.5	945	1,031	383	189	335
H28. 1月	367.5	813	979	365	167	281
2月	410.5	860	1,004	397	173	288

## さわやかデイサービス緑台の閉鎖と統合のお知らせ

さわやか北摂では現在迄、「緑台」と「水明台」の2ヶ所でデイサービスを運営して参りましたが、今後実施される介護予防・日常生活支援総合事業に向け考慮を重ねた結果、緑台を平成28年3月末に閉鎖し、水明台へ統合することに致しました。(平成28年4月1日より)

今まで県の指定を受けて小規模通所介護を運営しておりましたが、平成28年4月1日より市の管轄となる地域密着型通所介護に移行します。

1日の定員は18名。利用していただけるのは川西市民のみとなります。サービス内容については、今までと大きく変わることはありません。

今後のご利用につきましては、ご担当のケアマネージャー様とご相談いただき、ご検討いただきますようお願い申し上げます。

現在迄、「さわやかデイサービス緑台」をご利用いただいております皆様には大変ご迷惑をおかけし、心苦しい限りでございますが何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。

ご不明な点などございましたら、下記までお問い合わせください。

お問合せ先：さわやかデイ・水明台 TEL：072-767-6215



### 各種ご支援 感謝申し上げます

地球交響曲を観る会 佐野隆二郎様  
林重郎様 馬淵英男様 岡崎信一様  
藤原昌様 上野山澄子様 花岡緋英美様  
熊田孝子様 竹内和子様 金谷美子様  
田村龍司様 馬場美千子様 中村良子様  
西田紘子様 松井秀夫様 岡田八郎様  
中嶋賢治様 上野博美様 内野健夫様  
辻井潔様

### お知らせ

28年度の年会費は、誠に勝手ながら、4月1日以降にお振り込み或いはおこと付け下さいますようお願い致します。

### 電話番号変更のお知らせ

(水明台デイ・居場所は 3月1日より)

電話 072-767-6215

FAX 072-767-6230